

「当社のガバナンスについて」 網川 CEO

- ガバナンス強化委員会の報告を受け、私より会社を代表して一言、申し上げたいと思います。
- 先ず、ガバナンス強化委員会の委員の皆様には、発足以来、本当に多くの時間を割いていただき、調査報告書で指摘された事項につき、真因の究明、責任の所在の明確化、再発防止策の策定に向けた提言の取りまとめを行っていただき、心より感謝申し上げます。
- ガバナンス強化委員会の皆様は東芝の再生のためには、ガバナンスの再構築が不可欠であるとの強い思いを抱き、当社の将来のために報告書をまとめてくださったと認識しています。
- ガバナンス強化委員会の報告書においては、違法性の問題は指摘されていません。しかし、私は、「全体として市場が求める企業倫理に反する行為と評価せざるを得ない」とされた行為を取っていたことに対して、経営者として、大変、恥ずべきことだと感じています。
- ガバナンス強化委員会の最終報告書については我々も受け取ったばかりですが、再発防止策の策定に向けた提言を含め、これから報告書の内容を踏まえて、しっかりと会社の中で真剣にガバナンスについて議論していきます。この再発防止策は棄損された株主からの信頼を回復するための第一歩と考えています。
- 当社グループの価値観の一つに「誠実であり続ける」という一文があります。現場の社員の多くは、この価値観を持って日々の仕事に取り組んでいます。一方で一部の経営陣がこの価値観からかけ離れた行動を取っていたことについて、会社として真摯に反省すべきと考えます。
- 企業経営は全てのステークホルダーとの信頼関係の上に成り立つものです。ガバナンス強化委員会においてもトーン・アット・ザ・トップ、組織のリーダーが倫理観や誠実さを大切にする姿勢を示すことの重要性を指摘いただきました。これまで、誤りを認める文化、上に意見が言える風通しの良い組織を築くことに注力してきましたが、もう一步掘り下げて、従業員の心理的安全性なども考慮したうえで再度、地道な努力を積み重ねていきたいと思えます。
- 本日、これから発表いたしますとおり、当社グループは、エネルギー・インフラ事業とストレージ・デバイス事業がそれぞれ分離・独立して上場する方針を決定いたしました。極めて大きな変化ではありますが、逆にそれぞれが分離・独立していく中で、「人と、地球の、明日のために」という経営理念と想いは引継ぎつつ、それぞれの事業が新しい企業風土のもとで成長していくチャンスだと考えます。それに先立ってガバナンスを強化しておくことは最重要の経営課題であると認識しています。
- 引き続き、皆様のご支援を受け賜わりたく、よろしく願い申し上げます。

以上